

# 今こそ、問う! ~新時代を生き抜く経営とは~

## 第30回 福岡県中小企業経営者フォーラム

第一部【基調講演】

会場 ホテルニューオータニ博多 / 13:00~14:40(受付 12:30~)

TITLE  
**あなたの会社は今のままでいいですか?  
~変わりたいから同友会に入会したんだろ~**

同友会で学んだ情報を価値に変えていく



宇佐見合板(株)  
代表取締役 **宇佐見 孝 氏**

愛知同友会 / 中小企業家同友会全国協議会広報委員長  
愛知同友会には1984年10月20日に入会。青同連協代表、フォーラム実行委員長、広報部長、報道部長を歴任し、2015年4月より副代表理事(総務・情報部門担当)、2020年4月~愛知同友会理事、2020年7月~中同協広報委員長を務める。

会社概要	創業	1954年	年商	17億円
	資本金	2,160万円	従業員数	70人 (パート25名)
	事業内容	合板製造、販売、NC加工、成形合板製造		

宇佐見さんは愛知同友会に28歳で入会、青年同友会から始まり、現在会歴40年になります。合板業界においては1986年に関税が撤廃され、怒涛の如く輸入合板が入ってきました。国内の合板会社はどんどん潰れ、約400社あった企業は、わずか20社程度まで減っています。業界大淘汰時代においても業績を伸ばし続けている宇佐見合板(株)は、宇佐見さんの経営者としての覚悟とともに、同友会で得た情報の有効活用がありました。同友会は熱く話ができる仲間がいます。本音で語り同友会ごっこにならないように、仲間同士で腹を割って語り合うことが大事なことです。同友会の魅力の一つはそこから得られる「情報」。会社が変わるとは何ですかと問いかけ、同友会で学び、情報を得て、それを価値に変えることが真の同友会で学ぶということだと話されます。「同友会は情報の宝庫」と言われる宇佐見さんの経営実践から、会社の事業領域を確認し、分析し価値を創造することで会社が変わるということを学びましょう。

第二部【交流会】

会場 ホテルニューオータニ博多 / 18:30~20:00

TITLE  
**参加者同士の更なる交流を目指して**

6つの分科会終了後、参加者同士の更なる交流を深めるため交流会を開催します。交流会では、第30回経営者フォーラムの全ての座長が集まり、各分科会での学びや体験の報告を行います。ここでは、参加できなかった分科会での学びのエッセンスを学び、また参加した分科会で学んだことを振り返ることにより、更なる深掘りを行います。アトラクションでは「ちんどん鈴乃家のちんどんショウ」が開催され交流会をさらに盛り上げます。ご年配の方には懐かしく、若い方には新しく今では珍しい存在になった「ちんどん屋」さんの楽しい演出もお楽しみください。



ちんどん鈴乃家

第二部【分科会】

第1分科会  
人を生かす経営推進本部

会場 電気ビル / 15:00~18:00

TITLE  
**新時代を生き抜く経営者の覚悟**

同友会らしい企業づくりで未来を切り拓く



エイバックス(株)  
代表取締役会長 **加藤 明彦 氏**  
愛知同友会 / 相談役理事 中小企業家同友会全国協議会 / 副会長

経営環境は大きな変化を経て新時代に突入しました。過去の延長線上にいただけでは今の仕事は必ず無くなります。その中でも私たち経営者は、D&I(多様性と包摂性)やSDGSなど、様々な視点で現状認識を行い、先を見る経営、未来が見える経営をしていく責任があります。本分科会の報告者、中同協副会長の加藤さんは「こんな時代だからこそ、人間尊重の経営が差別化になる」と仰います。いくつもの激変の時代を乗り越え、会社を発展させてきた加藤さんの経営体験報告から人を生かす経営の本質を学びます。

会社概要	創業	1949年
	資本金	1,000万円
	年商	77億7,000万円
	従業員数	493人 (パート社員234名)
	事業内容	自動車関連部品(A/Tバルブ、ブレーキ、ミッション、エンジン部品)、建設機械部品(高精度小物、精密切削/研削加工部品)の製造。

第3分科会  
地域づくり推進本部

会場 電気ビル / 15:00~18:00

TITLE  
**時代に対応し、変化を創れる「価格決定権」をもった企業づくりに取り組もう**



中小企業家同友会全国協議会  
参与 **松井 清充 氏**

現在の時代の変化は、価格決定権をもった企業づくりが必要となったことです。価格決定権の分野を持つには「潰れない企業づくりから自主・民主・連帯の企業づくりで労使見解の確立を目指して変化に対応する企業づくり」をし、その上で市場を創れる「21世紀型企業づくり」を目指して、経営指針実践でピンチをチャンスに変える戦略に取り組む必要があります。さらに、地域のインフラとして地域の課題も指針に入れ、地域で生きることを目指す企業として、人を生かす経営を実践して「人が生き続けられる地域」を創っていくことです。

1951年大阪生まれ。1976年大阪同友会事務局に入局、1991年大阪同友会事務局長、2009年中同協専務幹事、2017年中同協専任講師、2021年中同協専務幹事。大阪時代から5つの大学で講義、中小企業の存在意義を発信している。(日本でいちばん大切にしたい会社大賞の元審査委員も)

第5分科会  
フォーラム実行委員会

会場 電気ビル / 15:00~18:00

TITLE  
**小さな一歩が大きな未来を創る**

一人起業家の生き抜く戦略



(株)Link Solar  
代表取締役 **梶原 多真季 氏**  
西支部

一人起業や個人事業主の方々にむけて、新時代の経営環境における課題とチャンスを探ります。報告者自身も個人事業主として日々奮闘している中、福岡同友会と出会い、のちに法人化を決意。一人起業家としての体験談を交え、一人起業家ならではの悩みに対してどのように解決しているかを報告します。グループ討論では、改めて自身の経営についてどのように展開していくかを共有し、成功するためのヒントを探ります。

大学卒業後、2011年、個人事業主として独立。東京から広島、福岡と移り住み、2023年8月法人化(資本金300万円)。  
「採用・定着・育成」の課題を解決するコンサルティング会社。「気づく」から「できる」になる研修支援。

第2分科会  
仕事づくり推進本部

会場 電気ビル / 15:00~18:00

TITLE  
**減災意識が新たな地域活性化の未来を創る**

大牟田市の豪雨災害から見てきたこと



大牟田ビンテージのまち(株)/ (株)カンカングループ 他1社  
代表取締役 **富山 博史 氏**  
大牟田支部 / ソーシャルビジネス副委員長

令和2年、大牟田を襲った豪雨災害で地域と連携し支援を開始した大牟田ビンテージのまち株式会社の富山さん。このことを機に今後も起こり得る自然災害に対し、減災に意識を持った起業家を地域に育成することを始めます。実施地域に空き店舗を活用したチャレンジセンターを設置し、BCP(事業継続力強化計画)、起業、創業、就農、6次産業化等をテーマに勉強会を実施。自社のみならず、地域とどう関わり進めてきたのかについてお話しします。

会社概要	創業	2014年
	資本金	430万円
	年商	1億4,500万円 (グループ合計)
	従業員数	60人 (パート・アルバイト55名)
	事業内容	不動産賃貸業、飲食業、DIYリノベによる街づくりに取り組む。

第4分科会  
同友会づくり推進本部

会場 電気ビル / 15:00~18:00

TITLE  
**10年ビジョンを2年で達成できた秘訣!!**

新しい時代に必要とされる能力とは



(株)ハビリテ  
代表取締役 **太田 恵理子 氏**  
徳島同友会

太田さんは水頭症の我が子を預かってくれる保育園が見つからず、「それなら自分で保育園をつくらう」と会社設立を決意します。そこから色んな失敗や葛藤がありながらも、10年ビジョンとして掲げていた障害児総合支援施設の開所をわずか2年で成し遂げることができました。「口に出したことは必ず叶う」と信じて進んできた太田さん。経営者自身が強みを発揮し、可能性を爆発させてビジョンを実現していく過程をご報告いただきます。

会社概要	創業	2018年
	資本金	300万円
	年商	1億円
	従業員数	33人 (パート・アルバイト15名)
	事業内容	障害児に特化した認可保育園、障害児通所支援施設、エステサロンの運営。

見学分科会  
フォーラム実行委員会

会場 基調講演後にバスで会社へ移動  定員 30名

TITLE  
**創業理念と現代経営の融合**

経営再建の物語



(株)ゼコー  
代表取締役社長 **庄野 道彦 氏**  
福友愛支部

株式会社ゼコーさんの見学を通じて、持続可能な経営に向けたあり方を学びます。経営破綻からの再建を果たし、創業時の経営理念を現代に適用して革新する方法を探る報告者。「機械屋」から「ライフスタイル提案業」への挑戦や、経営者としての覚悟と志に触れることで、参加者は自社の持続可能な経営を実現するための具体的な戦略を見つける貴重なチャンスを得ます。新たな時代の経営課題に対応するための知識と知見を深めましょう。

会社概要	創業	1975年
	資本金	4,500万円
	年商	5億5,000万円
	従業員数	33人
	事業内容	小売業向け情報システムやRO水給水機等の水関連事業。ならびに生活者への「ライフスタイル提案業」